

## 母の説得プロジェクト

東臼杵支会 代表 村田 未来

選挙に行かない母を選挙に行かせる。それは私にとって一つの試練でした。

ある日、私は麻生さんがお話をしている動画を視聴しました。その動画で麻生さんは「若者が政治に関心がないのは悪いことだとは思わない。それは、日本が政治に関心がなくとも生きていける国であるということだと思う。」とおっしゃっていました。私は、麻生さんの言葉を聞いて、そういう考え方もあるかもしれないと思うと同時に一つ疑問が浮かびました。「もう、日本は政治に関心を持たざるを得ない国に近づいてるんじゃないの？」という疑問です。夫婦別姓、同性婚、環境や経済、医療。未だ多くの課題を抱えた日本という国はもう安心できる国ではない。私の中での確信は”危機感”というものに変わりはじめていたのでした。

私が塾から帰宅する 23 時、私が夕飯を食べ始めるのと同時に私の母はニュースを見始めます。その日起きた事故、事件、エンタメや気象情報についての情報を母は受け取っているのです。そして、もう一つ母が受け取るトピックがあります。それは政治です。新型コロナウイルスの影響からか、国民は以前よりも明確に政策や結果を期待しているように思います。私の母もその一人です。

「緊急事態宣言が短すぎる。」

「飲食店で働く人はどうするの？」

そうやって私は母と意見交換するのです。そんな政治に関心がないわけではない母に私は納得できないことがあるのです。それはどうしてか、私の母は「選挙に行かない」からです。そこでおよそ 3 週間にわたる母の説得プロジェクトがスタートしたのでした。18 歳で選挙権が認められる今、私は将来選挙に行きたいと考えています。選挙に行き、投票すること。それは意思表示することです。私は自分の一票で何かが変わるとは思えません。しかし、私はテレビや新聞で伝えられる日本の政治に対して意見しているのにも関わらず、選挙に行かないことは筋が通っていないと考えてしまうのです。そこで私は母に質問を試みることにしたのでした。

「なんで選挙に行かないの？」

「私が選挙に行ったところで何かが変わるとは思えないし、政党とか議員とかについても全然知らないから、誰に投票したらいいか分からないんだよね。」

「でもね、お母さんもこれから歳をとれば”年金”とか関わってくるでしょ？危機感をもって意思表示する必要があるんじゃないの？あとそれに、政党や議員についてはテレビでもよく紹介されているよね。特に、選挙前にはポスター

も貼られているし、自分なりに調べて投票する人もいるんだよ。」

「でもさー、議員の人が言ってること全部同じに聞こえるんだよね。あと、うそっぽくも聞こえるんだけど。これとこれとこれをやります！必ず実現させます！みたいなこと言うけど、本当にやれてる？結果として表れてる？って思ってしまうんだよね。」

さすがの私も予想外でした。さすがに母も納得してくれると思っていたからです。負けたな～、私はそう感じてしまいました。なぜなら、母のその発言に私の方が納得してしまったからです。確かに私自身、議員一人ひとりの違いをあまり感じたことがありませんでした。もしかすると私はなんとなくこの人がいいかもなぐらいのテンションで投票することになっていたかもしれない。そう思うと怖くなりました。うそっぽく聞こえるというのも分からなくもない。母にとってはいたって素直な感想で、母の中で投票することは何かしら良い結果を求めることとイコールだったのです。また、一定数母と同じように考えている人がいると仮定して、母の率直な意見は一部の国民のリアルな意見と捉えることもできるのです。

そんな母をどうにか説得したい。私が行ったのはポートマッチです。ポートマッチとはスマホを使って政治や政党に関するいくつかの質問に答え、自分の考えとどの政党の考えが合致しているか確認できるものです。最終的に合致率が出て、母と一緒に結果を見ました。

「もし投票するなら、この政党に投票すればいいんだね。」

母の口から、思いがけない言葉が発せられ、驚きでした。これはもしかすると選挙に行くかもしれない。私の中の母への期待はだんだんと大きくなっていきました。しかし選挙2日前、母は「選挙には行かない」と言い始めました。私は母の中で意地になっているのではないか、と思いました。選挙2日前にして私は母を説得するのをやめました。

いよいよ選挙当日。前日もいい反応が見られなかったため、私は何も言いませんでした。そうして時間は刻々と過ぎていき、夕方、私は塾へと行きました。そして、21時。迎えに来た母の車に乗り込みました。

「選挙行ったよ。」

突然の母の報告に私は思わず、叫びました。選挙の様子を楽しそうに話す母を見て、一体どんな心境の変化があったのかは私にもよく分かりませんでした。しかし、これまで私が母に伝えた選挙の大切さや投票することの意味を少しは分かってくれたのかなと思います。それから家に帰ると、生放送で選挙番組があっていました。母は自分が投票した政党の議席数を見て応援していました。母の一票が私にはとても嬉しく、そして羨ましくもありました。

選挙に行く。それは私達親子を成長させてくれた大切なことです。